様式第３号

事務事業評価表（平成２６年度）

事業コード	1350	課コード	1701	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　■経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	学童保育の充実	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	学童保育室の運営	②部課名	子ども部・子ども支援課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	平成２０年度　～		⑥担当職員数	4 人　（換算人数　1.08 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	194,710 千円	当該(開始)年度	（当　初）216,016 千円　（うち人件費　10,044 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点４
		基本計画地区別計画への位置づけ	●有　○無	部門別計画への位置づけ	（計画名）子ども総合計画　健康福祉総合
(2)目的	施策目的・展開方向	多様な保育ニーズに対応するため、保育園や学童保育室をはじめとした保育サービスの供給体制の強化と質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てを共に支える体制を整備します。		事業目的	共稼ぎやひとり親家庭等の児童の放課後を安全で豊かなものにし、児童の健全な育ちと働く親の就労を支援する。全ての子どもを対象とした「活動の場」であるあびっ子クラブ（子どもの居場所事業）との一体的な運営を図りながら事業を推進する。
(3)事業内容	内　容	児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業として、市内１３小学校区内に学童保育室を設置し、共働き等で保護者がいない概ね小学１年～３年生までの児童を受入れ、学童保育スタッフ（学童保育指導員）による保育を行う。 ・学校開設日は授業終了後～１９：００、学校休業日（夏休み等）…７：４５～１９：００で開設。 ・スタッフの質的向上のため、課内研修を年４回程度、及び学童保育指導員学校等への派遣研修を年３～５回程度実施。 ・施設の維持補修及び配備品等の充実による児童の安全確保		当該年度執行計画	１３小学校区１７学童保育室の入室決定事務をはじめ、非常勤スタッフ等による児童の保育業務を行う。スタッフ会議を通じ、利用児童の安全を第一に各学童保育室を運営する。 ・担当課主催のスタッフ研修を４回開催、学童保育指導員学校等の外部研修にスタッフを年３回程度派遣。 ・児童の安全確保のため、ＬＥＤ照明器具の取付、床改修工事などの施設改修工事及び窓ガラスの飛散防止用フィルムの取り付けを行う。 ・その他、各父母会からの要望を受け、維持補修工事などを実施。
				当該年度活動結果指標	登録児童数（平均）　単位：人　想定値：730　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該(開始)年度	待機児童ゼロ	直接	待機せずに入室できた児童数/入室申請者数	%	100	100
３年後	待機児童ゼロ	直接	待機せずに入室できた児童数/入室申請者数	%	100	100
最終(概ね５年後)	待機児童ゼロ	直接	待機せずに入室できた児童数/入室申請者数	%	100	100

(7)事業実施上の課題と対応	代替案検討
大規模化している学童保育室の分室を検討しなくてはいけないが、財源と施設の確保が難しく、整備時期や期間も学校・教育委員会との調整が重要となっている。	●有　○無

(8)施行事項

	平成２５年度		平成２６年度			平成２７年度		平成２８年度	
	内　容	金額(千円)	内　容	金額(千円)	実績値(千円)	内　容	金額(千円)	内　容	金額(千円)
実施内容	非常勤一般職員人件費(経常)	2,421	非常勤一般職員人件費（２号嘱託分）（	1,213		非常勤一般職員人件費(経常)	1,250	非常勤一般職員人件費（経常）	1,250
	非常勤一般職人件費（スタッフ分）（経	135,854	非常勤一般職人件費（スタッフ分）（経	139,981		非常勤一般職人件費（スタッフ分）（経	145,000	非常勤一般職人件費（スタッフ分）（経	145,000
	放課後対策事業運営費(経常)	62,010	放課後対策事業運営費(経常)	60,282		放課後対策事業運営費(経常)	60,700	放課後対策事業運営費（経常）	60,700
	放課後対策施設維持補修費（経常）	2,234	放課後対策施設維持補修費（経常）	2,208		放課後対策施設維持補修費（経常）	2,300	方鍵対策施設維持補修費（経常）	2,300
	* 【政策】		* 【政策】			* 【政策】		* 【政策】	
	* 放課後対策施設維持補修費	3,234	* 放課後対策事業運営費（政策）			* 樹木管理委託料	300	* 樹木管理委託料	500
	* 職員駐車場使用料	480	* （高野山、新木）樹木管理委託料	819		* 飛散防止フィルム取付業務委託料	500	* 飛散防止フィルム取付委託料	500
	* ＡＥＤリース料（三小・高野山小）	170	* 飛散防止フィルム取付業務委託料	500		* 学童保育室維持補修工事費	3,000	* 学童保育室維持補修工事費	3,000
			* 放課後対策施設維持補修費（政策）						
			* （三小）ジョイント式コルクマット	150					
			* （二小）エアコン取付工事	162					
			* （二小）エアコン室外機囲い取付工事	100					
			* （高野山）通路舗装工事	357					
			* （湖北）出入口扉改修工事	200					
予算(済)額	合　計	206,403	合　計	205,972		合　計	213,050	合　計	213,250
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 60 %	57,624	補助率 60 %	60,291		補助率 60 %	60,291	補助率 60 %	60,291
起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
一般財源		86,071		83,305			90,383		90,583
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	62,708	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	62,376		□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	62,376	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	62,376
(10)人件費等 換算人数(人)		1.08		1.08			1.08		1.08
正職員人件費		10,044		10,044			10,044		10,044
嘱託職員報酬額		1,954		1,213			1,250		1,250
臨時職員賃金額		320		320			320		320
事業費(予算(済)額＋正職員人件費)		216,447		216,016			223,094		223,294
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	288.6千円／人		295.91千円／人						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	多くの団塊の世代が引退した後、市民税による歳入が激減することは住宅都市である本市において、まさに死活問題である。この問題を解決するためには、今後いかに若い世代が本市に定住してくれるか否かが大きく関係してきます。そのため、本市は、地域で一番子育てしやすいまちを目指し、その特徴的な施策が「待機児童ゼロ」となる。 しかしながら、社会状況の変化により家庭保育が困難な児童の増加は顕著であり、待機児童ゼロの維持推進と子育て支援施策の充実・向上を図る必要がある。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ●②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容：○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 工夫の具体的な内容：おやつに係る経費を父母会で徴収し、おやつの購入・提供をスタッフが行っている。また、父母会費で、施設修繕や消耗品購入を行っている。 ＜その他の内容＞	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 参加・協働の程度・内容：○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点：□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 取組む内容：おやつで出たプリンなどの空き容器の再利用。 緑のカーテンの実施。 ＜その他の内容＞ 資源の再利用。出来る限り可能な範囲での節電。	実施した具体的な内容 環境への配慮：○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：100 目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック：□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%)　達成率(%)(f/b×100) ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円) 216,016　事業費削減額(d)(千円) 431 事業費削減率(%) 0.2 実施予定の対策：■①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □②現有体制での対応　■⑥受益者負担 ■③維持管理費の削減策の実施　□⑦その他 ■④民間委託 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)　対事業費(%)(g/c)×100 ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について：○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.05　単位：%　費用単位：10万円 計算方法：●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)　対目標値(%)(h/e)×100 ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向